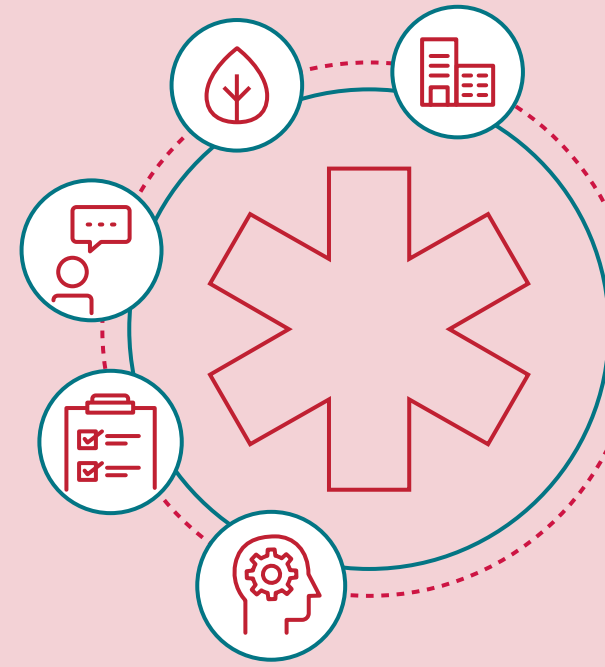


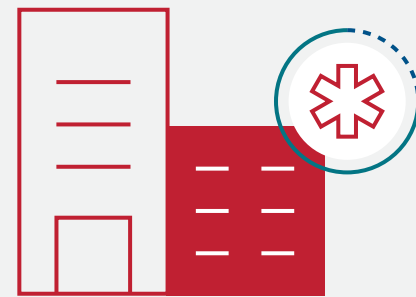
安全性における 主要トレンド

製品開発サイクルが短縮され、安全性の定義が拡大されるにつれて、企業が製品の安全性を確保することが今までになく困難になっています。この課題について、さらにはテクノロジーがどのように安全性に影響を及ぼすかについて理解を深めるべく、ULは経営幹部や上級プロフェッショナルを対象に、安全性における主要トレンドを明らかにするための調査を実施しました。



1 企業は、製品の安全性を保証する能力に自信を持っていない。

新製品の安全性を保証するための自社のプロセスについて「非常に大きな」自信を持っていると考えるのは、回答者の半数未満(41%)に留まっています。



2 将来、安全性には物理的な防衛手段以上のものが必要となる。

世界が複雑さを増すにつれて新しいリスクが生じ、安全上の懸念は増大してきました。1970年から今日にかけて、規制カテゴリや、安全性に関する組織の数は急激に増大しました。データセキュリティ、化学製品の使用、健康上の懸念など、新しい課題が生じるにつれて、安全上の基準がさらに追加されています。

調査参加者は、安全性に関する次の要素が「非常に重要である」と回答しています。(5段階評価での5)



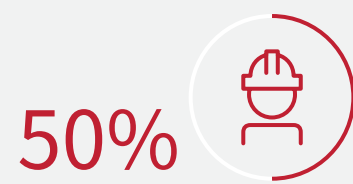
の参加者が、消費者が製品を安全に使用できることが「非常に重要である」と回答しています



の参加者が、連邦規制または国際的規制への準拠が「非常に重要である」と回答しています



の参加者が、製品が健康に害を及ぼさないことが「非常に重要である」と回答しています



の参加者が、設計、製造、移動時に製品が従業員にとって安全であることが「非常に重要である」と回答しています

3 規制および顧客の期待度が安全性の最大の推進要因である。

この調査では、54%の回答者が、「業界規制」が製品の安全性における「非常に重要な推進要因」と考えています。さらに、49%の回答者は「顧客の期待度」が「非常に重要な推進要因」と考えています。



4 規制の変更が、企業に大きな課題をもたらす。

この調査では、実に76%の回答者が「規制への準拠が、安全性へのアプローチに多大な影響を及ぼす、または完全な見直しを迫る」と考えています。製品の安全性に関するより厳格な基準を適用、維持する上での主要課題を尋ねる質問では、「急速に進化する規制」が最大の課題であると回答されています。

5 新しいテクノロジーが、製品の安全性に多大な影響を及ぼす。

調査参加者は、テクノロジーによって、企業の安全性へのアプローチが大きな変更を迫られる可能性があると考えています。実際、回答者の67%が、人工知能や機械学習は安全性へのアプローチに「多大な影響を及ぼす」または「完全な見直しを迫る」と考えています。同様に、回答者の67%はモノのインターネット (IoT) も同様の影響があると考えています。

